

## 寅さん歩 その26

### 東京の主要道路の起点～終点

#### 玉川通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」と歩いてきました。

今回は「玉川通り」を歩いています。玉川通りは青山通りの終点の渋谷区渋谷駅東口交差点を起点に、世田谷区玉川一丁目の二子橋に至る延長約9 kmの道です。写真右上は玉川通りの道路名標識（国道246号線）です。

国道246号線は東京都千代田区三宅坂交差点を起点に、多摩川を渡り、神奈川県中央地域を経て静岡県沼津市に至る幹線道路です。玉川通りの玉川とは1889年（明治22年）8村が合併して成立した玉川村に由来することです。前回は起点の渋谷駅東口交差点から三軒茶屋交差点まで歩きました。

今回は三軒茶屋交差点から終点の二子橋まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

#### [三軒茶屋交差点] 世田谷区太子堂一丁目

最寄駅 東急田園都市線 三軒茶屋駅

「三軒茶屋」の地名は江戸の中期以降、社寺詣ブームで賑わった三軒茶屋交差点付近の大山道と登戸道の分岐（追分）で三軒の茶屋が並んでいたことに由来します。玉川通りは三軒茶屋交差点から高速道路渋谷線の下を進みます。

## [上馬交差点] 世田谷区上馬三丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

上馬交差点（写真下左）で環七通り（都道 318 号線）と交差します。左へ行くと馬込方面、右へ行くと大原方面です。写真下左は 300m 手前、写真下右は交差点での案内標識で大きな交差点でよくある案内標識の形です。上馬の地名は旧荏原郡上馬引沢村に由来するとのこと。源頼朝がこの地を通った時に土砂崩れにあい、以後、馬を引いて渡れと命じたとの説もありますが、定かでないとのこと。



写真下左は上馬交差点です。



## [宗圓寺] 世田谷区上馬三丁目 最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

上馬交差点すぐ先の左側に「宗圓寺」（写真下左）がありました。鎌倉時代後期創建の曹洞宗の寺院です。江戸時代には咳を治すご利益があるとにぎわったとのこと。山門手前には「旭小学校発祥之地」の碑がありました。



### [駒澤大学駅前交差点] 世田谷区駒沢一丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

駒澤大学前交差点（写真下右）です。左は自由が丘方面に向かう自由通りの起点です。駒沢大学駅はすぐ脇ですが、駒澤大学正門は次の交差点から行きます。



### [駒沢交差点] 世田谷区駒沢一丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

駒沢交差点（写真下右）の左は駒澤大学正門入口に向かう駒沢公園通りです。



駒澤大学は1592年（文禄元年）駿河台に設立した曹洞宗の学林を起源とし、曹洞宗大学を経て1925年（大正14年）駒澤大学に改称しました。詳しくは  
寅さん歩 194 東京の学食めぐりー3 及び寅さん歩 402 東京の博物館めぐりー51 世田谷区ー1 をご覧ください。

## [新町一丁目交差点] 世田谷区駒沢四丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

新町一丁目交差点（写真下右）で右は桜新町・用賀方面です。



## [用賀一丁目交差点] 世田谷区用賀一丁目

最寄駅 東急田園都市線 用賀駅

用賀交差点（写真下右）で左は等々力方面、右は馬事公苑方面です。上を通っていた高速道路渋谷線は玉川通りから離れて東名高速道路に向かいます。



## [瀬田交差点] 世田谷区瀬田三丁目 最寄駅 東急田園都市線 用賀駅

瀬田交差点（写真下右）で環八通り（都道 466 号線）と交差します。左は等々力方面、右は都道 311 号線と名を変えて高井戸方面に行きます。



写真左は歩道橋の上から瀬田交差点を撮影しました。さすがに環八通りは車が多いです。玉川通りは直進です。二子玉川はもうすぐ目の前で、しばらくすると玉川高島屋が見えてきます

## [二子玉川交差点] 世田谷区玉川一丁目

最寄駅 東急田園都市線 二子多摩川駅

国道 246 号線は瀬田交差点先からバイパスで新二子橋へ向かいます。玉川通りは二子玉川駅方面に下り、終点の二子玉川交差点（写真下左）に向かいます。交差点の左は二子玉川駅、右は多摩川堤通りです。写真下右は玉川通りの終点を表す道路名標識（左が直角）です。



## [二子橋] 世田谷区玉川一丁目

最寄駅 東急田園都市線 二子多摩川駅

交差点前の多摩川にかかる二子橋（写真下左）です。多摩川は東京都と神奈川県を流れています。二子橋の東京都部分から右側の新二子橋方面（写真下右）を撮影しました。緑地は多摩川と多摩川に合流する野川の河川敷に整備された「兵庫島公園」です。また二子玉川駅近くには「玉川大師」があり、地下霊場が順拝できます。寅さん歩 57 健康ご利益めぐりー19 世田谷区をご覧ください。



これにて青山通りに続いた玉川通りを起点の渋谷駅から終点の二子玉川まで歩きました。東京都内の国道 246 号線を三宅坂起点の青山通りから完歩したことになります。現在は赤坂・青山・渋谷・世田谷の繁華街・高級住宅街となった沿道には「大山詣」で歩いた「大山道」の歴史が残されていました。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里 (約 2400 km) の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川 (現在の江東区深川) を出発、2023 年 1 月 21 日 村上 (現在の新潟県村上市) (江戸深川から 1304 km) に到着しました。

今後は新潟を目指します。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝